

DAY	期前	分類	アジェンダ	内容	所要時間 (min)	発表者	種別	資料	備考	事務局議事録	全体的問題
10月31日	1	イントロ	イントロ	・ 校友代表からのあいさつ ・ 自己紹介 ・ 校友会の組織の紹介 ・ 校友会のビジョンの共有 ・ 今日の進め方	30	主にボード	共有	1 3 4	【挨拶】 吉田より前回の韓国にGLIMの経験からRLMに就いて経験を説明 RLMの分け方を説明。去年のホスト国を今年のRLMで決めたい 今回は一人参加、理由は意見交換が集中して出ること、今回のトライアルを見て、来年の方針を決めたい RLMの形の組み方についても検討したほうがいいのかも MTGの進め方についてみんなの意見を見せながらの今回の企画の一つの目的 【自己紹介】 MANDY: シンガポールの経験を紹介 JANE: ホーチミン代表3年目、RLMで聞いた内容はチャプターメンバーに共有 RUMIC: 2015年から卒業生代表 RUSMI: スリランカ代表、1年目、RLMで聞いた内容はチャプターメンバーに共有 GROOM: 2017年7月から代表を務めている。タイチャプターには300人いる、大きい組織の運営についてみんなに聞きたい TUNG: 去年からハノイ代表、自分の経験も紹介しながらみんなからいろいろ学びたい MJUKUL: 1期生、2005年MBA卒 【校友会の組織の紹介】 吉田が資料をもとに説明した 【校友会のビジョン】 吉田が資料をもとに説明した。データは改めてメールで送る 【今日の進め方】 31日には18時までRLMをやる。18:30からハノイ在住の校友と懇親会		
	2	チャプター	チャプター間の関係構築	1.年報スケジュール(主なイベントの紹介) 2.ベスト・プラクティスなイベント 3.自チャプターが抱えている問題 4.目指すチャプター像 5.集客方法の工夫(ボードは良い案の共有) 6.どうやって規模を大きくしていくか 7.チャプター総会について	100	各チャプター	共有	5	【ホーチミン】 登録人数80人程度 APU、FAHLE、DIMEはホーチミンの特長 今日の参加者の卒業生は国内チャプターに参加する意欲は高くない、外国人の卒業生を誘致し、国内チャプターでも、国際化、多文化になることは今後の課題の一つ 【インド】 今後の課題は卒業後帰国しないへのケア APU、FAHLEの校友との連携が難しい、どこそれ国・地域によって温度感が違う 現地事務所との付き合いが難しい 【タイ】 2015年APU HANDSを企画(難しい地域での寄付活動) タイのRLM校友会のイベントにも参加 前代表のモチベーションをあげるために名刺作成(自分はPRESIDENT前代表はVO) 【ハノイ】 現地事務所との協力関係が良好、入試説明会の時にAPUを勧誘する 2月にAPUに学生のハノイチームス協力をしている 最近卒業した人を前代表に選抜したい APUのイベントの開催が難しい 【スリランカ】 AOの協力を進めて、面白い学校訪問をしたい、例えば前回はAPUのプロモーションをする。	校友会の存在があまり知られていない 卒業生の数にらやんとしたイベントを企画中 各チャプターが新入生渡日前ガイダンスの時に校友会のプロモーションをしてほしい 卒業生にコンタクトした際は事務局に連絡すれば、事務局から提供できる(前提は卒業判定後) APUからの返事はチャプターによって違うので、統一したほうが良い。APUは校友会イベントの主権に関して協力する体制を組む事ができるが、承認・承認する権限がない。今後チャプターで企画しているものは事務局と会長にも情報共有したほうが良い。	
	3	チャプター	チャプター総会について	必須開催であるチャプター総会の実施について改めてアナウンス	30		共有		チャプター総会の開催は必須。理由その場で代表・前代表などの選考・承認が必要だから MANDYからシンガポールの総会の紹介: SHARE&CARE、チャリティイベント、APUとの連携 ホーチミンでは校友情報の更新とカードコライズをしている		
	4	BREAK			15						
	5	チャプター	チャプターの新規設立に向けて	空白地域にいる校友にアプローチをしたい。 ・ 人数が多くチャプターの存在しないエリアへは重点的にアプローチ。 ・ 協賛した地域にチャプターが設立できそうな地域があれば教えて欲しい。	30		意見交換		チャプター設立の要件は、 ① 5人以上の校友がコアスタッフになること	吉田から3つのタイプを紹介した 張山、文連、スズキ系の国、北アメリカ、オーストラリア、カナダ、ネパール、ハンガリー、ウズベキスタン	
	6	予算	チャプターの予算について	チャプターに必要な予算について意見を伺いたい。 →12月に予算項目検討委員会を開催。その場で項目の決定をする。	60	全員	意見交換	8	予算検討委員会に予算項目を一任してもらって決めてもらうことを決断する。 都市によって物価が異なるため、補助金が一律になるのはおかしい。 現地の物価に合わせて設定してほしい。 http://www.world-economics.com/FoodPriceIndex/FPI.asp http://www.numbeo.com/cost-of-living/city-result.jsp?country=Japan&city=Tokyo キャリアイベントを申請する時の参加者人数が決まらない場合は少し難しい チャプター総会の際はグッズの要求があれば、事務局に買ってもらいたい 各チャプターからもらった意見をまとめたあとに12月に経理マニュアルの改正を行う 日本国内のチャプターのお金の使い方の目的が不明白 企画を提出する際に規模(見直し)の交付が必要 イベント企画の際は国によって差違の可能性がある。目的に合わせてプロモーションを必要がある 今回出した意見は、12月の予算検討MTGの場で改めて、改めてシェアする		
	7	その他	ボード、事務局からの連絡事項	・ 来年度のホストチャプターについて明日話すよ。 ・ 年末に予算ガイダンスを実施予定 ・ 事務局からの連絡事項 等	35	全員	共有		年末あいは年度末に実施する、それからみんなにメールでシェアする 2016年5月から開催する RLMは毎年開催 RLM2015年に1回開催		

300

MAX300

DAY	期前	分類	アジェンダ	内容	所要時間 (min)	発表者	種別	資料	備考	事務局議事録	全体的問題
11月1日	2	相識	LoopPASの紹介	LoopPASの紹介	10	ボード	共有	6		LOOPASの活動を紹介し、今後はプロモーションのため撮影依頼が来る際は協力してほしい チャプターからも何か在校生と連携して何かをやりたい時はLOOPASを使ってほしい	
	3	RLM	次回開催場所・時期	①Mandyからホストチャプターのスケジュールについて紹介 ②次回の幹事チャプター及びRLMの概要を決めたい	50	全員	決議	7	来年のRLMを開催する際はホスト国がファンクションするに際しては意見交換した MANDYからシンガポールRLMの実現について紹介した 情報共有が大事なので、メールを事務局に事務局に共有すること 2015年はトライアルの都市なので、今年の経験を来年に活かす 【来年度のRLMの開催について】 インドについてはメンバーが足りない可能性があるため、2017年の開催は問題ない インドについてはいつでもでも開催してくれる、できれば他の国にキャンパスを考えた ホーチミンについて聞いてもWELCOME スリランカは来年度のRLMを主催。2016年1月までに開催日程を決める		
	4	RLM	RLM参加人数の妥当性	各チャプターから1名か、2名が意見が欲しい	10	全員	意見交換		【一人】 意見が出やすい、コストが下がる。 【二人】 代表役への引き継ぎ、二人の分は自費できる事ができるチャプターもある 結論: 全体のRLMが終わってから決まる		
	5	BREAK			10						
	6	その他	SGUの紹介	事務局からSGUについて	10	事務局	共有		ACP制度がチャプターに与える関係 JANEさんとのGAMA、HLをすすめる		
	7	その他	感想	感想	60	全員	共有		TOPよりは込み入った話しができた。意思決定も早かった 他のチャプターの状況/ノウハウが知ってよかった。モチベーション向上に繋がるとも感じたい 大人数のGLIMは毎年一回くらいはほしい 他のRLMのフィードバックも知りたい 情報共有が非常に効果的だった ネットワーク構築に非常に役に立った APUへの感謝したい チャプターの連携が確立していきたい 少人数のため意見が出やすい 来年の開催について 事前の打ち合わせや重要なポイントもLINEでシェアしたほうが良い 10人くらいがよいという数 校友の主権チャプターは活動の活性化/ばドポイントが必要など、移動手段(公共交通)をまた整えていない東アジア諸国で、空港からのピックアップが可能かどうかなど)事前共有すべき		
	8	その他	バップアワー&その他意見交換	時間バップアワー及び他に意見交換したいことがあるこの時間で。	60	全員	意見交換		ベビーシッター制度については国によってベビーシッターを信頼しない恐れがあるの で、一緒に実施するのは難しい その他域にいる卒業生の数によって集客の難易度が違う 入学時/卒業生へのアプローチも必要。そうすることで校友会のプロモーションにも 繋がると、卒業後校友会への依存も生まれる チャプターの中でバブアワー未実施分中、総論の紹介成功もあつた 卒業生と卒業生をつなぐバブアワーをやる開催したい 家族がいる校友がイベントに参加できるように、補助できる制度のアイデアをボードまで出してほしい		
	9	その他	記念撮影	記念撮影	30	全員			PPTを出して写真撮影するのは良いが、後断断はやはり必要		

240

MAX240